

第91回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 平成30年9月11日(火) 13時30分～14時40分

2. 場 所 福島大学事務局 第2会議室

3. 出席者

【学外委員】阿部正、斎藤美幸、三部吉久、清水潔、田原博人、富田孝志
林由美子、深澤秀樹

【学内委員】中井勝己、中田スウラ、三浦浩喜、伊藤宏、若井祐次
朝賀俊彦、鈴木典夫、佐野孝治、二見亮弘

〔オブザーバー〕 副学長：塩谷弘康、塘 忠顕

監 事：上井喜彦、橋本潤子

4. 欠席者

【学外委員】川村栄司、櫻井泰典、渡邊博美

5. 議 事

【報告事項】

- (1) 役員の報酬及び職員の給与水準の公表について
- (2) 平成31年度概算要求額の伝達等について
- (3) 平成29年度における基金の状況について
- (4) オープンキャンパス2018について
- (5) 平成30年度監事監査計画について
- (6) その他

議事に先立ち、中井学長から挨拶があった。

【確認事項】

第90回経営協議会議事要録を原案のとおり確認した。

なお、中井学長から、第90回経営協議会審議事項(4)平成29事業年度決算について質問が出された、本学における無形固定資産の整理区分方法等について、次回の経営協議会で報告することとなっていた旨、説明があり、引き続き、若井理事・事務局長から、本学の無形固定資産の整理区分の状況等について報告があった。

【報告事項】

(1) 役員の報酬及び職員の給与水準の公表について

中田理事・副学長から、資料1に基づき、毎年度公表することとされている役員の報酬支給状況、職員の給与水準、人件費の状況等について説明があった。

(2) 平成31年度概算要求額の伝達等について

若井理事・事務局長から、資料2に基づき、文部科学省より伝達のあった平成31年度国立大学法人運営費交付金等概算要求額の概要、そのうち本学分の運営費交付金及び施設整備概算要求事業について説明があった。

(以下、 はその議題に関する学外委員からの質問・意見、 は大学側の回答等を表す。)

タブレットを使用した資料の閲覧へ移行したことに伴い、資料が膨大になっているケースが多く見受けられ、重要な点が埋没してしまっているのではないかと。今後は、資料の精選を行った上で、各資料の主な概要・ポイントを明確にするようにするなど、タブレットを使用した会議の運営方法の工夫をお願いしたい。

今後は、必要な資料を精査した上で、報告を行っていきたい。

(3) 平成29年度における基金の状況について

若井理事・事務局長から、資料3に基づき、 主な基金の概要、 平成29年度の収支状況、 各基金事業の成果について説明があった。

(4) オープンキャンパス2018について

塩谷副学長から、資料4に基づき、2018オープンキャンパスの実施状況及び参加者数について報告があり、引き続き、各学類長から、当該学類説明会の参加者数及び説明会時の状況等について説明があった。

オープンキャンパスに保護者も含む多くの方が参加しているということは、少なからず福島大学に興味関心を持っていることである。受験生を増やす目的だけにオープンキャンパスを実施するのではなく、より多くの方に福島大学を知ってもらう機会として実施していくことが重要である。

オープンキャンパス参加者数の増減で成果を測るのではなく、参加者の属性及びその変化を分析していくことが重要である。今後は、受験生のニーズを引

き出し、戦略的にPR等に活用していく必要がある。また、平成31年4月に全学再編を行う福島大学としてイメージチェンジを図る入試広報などの方策を進めてほしい。

大学祭のように地域を含む広く一般的に開放する意味でのオープンキャンパスも必要ではあるが、具体的に受験を考えている学生向けにオープンキャンパスを開催するのであれば、事前申込制や対象者を制限した各種説明会を実施するなど、参加者の要望に丁寧に応えていくこと、焦点を絞って実施していくことで、参加者の満足度も高まり、やる気のある志願者が増えるのではないかと。

昨年秋のオープンキャンパスプログラムのうち、模擬授業及び授業体験については、事前申込制を導入して実施した。今後も、福島県外における説明会又は高校訪問等を通じた積極的なPRを実施し、多様な分析を行いながら、戦略的に広報活動を進めていきたい。

例年、秋のオープンキャンパスでは、受験を間近に控えた高校3年生の参加者が多いため、今後の実施内容、PR方法等も工夫していきたい。

(5) 平成30年度監事監査計画について

上井監事から、資料5に基づき、平成30年度監事監査の基本方針、監査の方法、監査の重点事項及び実施項目について報告があった。